

HIO YOG

教区新報

2009.12 160号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部



三千人で宗祖讃仰作法をお勤め

「念仏に生かされるよろこびを行動へ」を合言葉に、今後も兵庫教区仏教婦人会連盟が活動を前進させることを期待いたします」とお言葉を述べられた。

閉会式では、教区選出の宗会議員で、随行長の西脇修務(揖龍西組超念寺)の挨拶、細田三津子大会副委員長(神明組)の謝辞と続き、最後に恩徳讃を参加者一同で斉唱して大会は終了した。

染み入るような寒さを感じる頃になると、ふと勤式指導所の事を思い出す。本願寺の境内は薄暗く早朝の静けさも手伝って、冷たい風が心を引き締める。お農朝に出勤する朝は、いつもこんな感じだった。喚鐘を合図にまだ暗い室内に入り外陣に座ると、この聲がまたひんやりと冷たい。底冷えする京都の夜を、思う存分吸い込んでいるかのようだが、ところが、正信偈を唱え和讃にかかる頃になると、体のぬくもりが伝わった。今度こそ、我が身を優しく支えてくれる。やがて、室内に日が差し込み明るくなっていく。その時間がなんとも言えず心地よい。今にして思えば、勤式作法を学ぶための一年であっただけでは、本願寺での朝夕の勤行や様々な法要に出勤することが、現場の緊張感と雰囲気味わうことの出来た貴重な時間ではなかったかと考える。現在、神戸に帰ってから二十年以上経ち、自分なりに心の余裕を持ちながら寺院活動をしているが、あの頃の、余裕はないけれど緊張感の中で懸命だったことが懐かし、今の自分にはそれが欠けているように、いささか虚しさを感じる。二年後には、親鸞聖人七百五十大遠忌を迎える。日頃、本願寺へは「参拝」させて頂いているが、この度は「出勤」させて頂くかと考えている。あの頃、に少し触れてみたくなった。

神戸湊組浄榮寺 小宅 匡

十一月十九日(木)、ポーランドにある神戸国際展示場コンベンションホールを会場とし、大谷範子仏教婦人会連盟総裁さま御臨席のもと「兵庫教区仏教婦人会連盟結

成五〇周年記念大会」が行われた。

当日は三千名を越える仏教婦人が参集、鹿多証道師(加古川組妙正寺)による「宗祖讃仰作法」の指導の後、司会の竹内

教区仏婦連盟・結成50周年 三千人が参集

千恵子さん(神戸湊組)のアナウンスで総裁さまが入場。続いて本澤妙子さん(播磨中組)の旗手による教区連盟旗入場。大会は開式した。

教区仏婦ブロック代表委員による、献灯・献華に続いて総裁様ご焼香の後、大遠忌法要のために制定された「宗祖讃仰作

法・音楽法要」が、池本すま子さん、中川栄子さん、飯塚政美さん、北野満知子さん、三浦幸子さん、前田綾子さん、中塚初江さん、川口まさるさん(多紀組)を代表に仏教婦人会綱領を唱和の後、総裁さまが、助けを必要とする方へ率先してボランティア活動・ダーナ活動を行う教区の姿勢に感謝を述べられ、おわりに「おかげさま、という心持

の謝を述べられ、おわりに「おかげさま、という心持の足りない、私が幸せならそれでよいという小さな世界へ。大きな世界へ。」を合言葉に、今後も兵庫教区仏教婦人会連盟が活動を前進させることを期待いたします」とお言葉を述べられた。

閉会式では、教区選出の宗会議員で、随行長の西脇修務(揖龍西組超念寺)の挨拶、細田三津子大会副委員長(神明組)の謝辞と続き、最後に恩徳讃を参加者一同で斉唱して大会は終了した。



しんしんと染み入るような寒さを感じる頃になると、ふと勤式指導所の事を思い出す。本願寺の境内は薄暗く早朝の静けさも手伝って、冷たい風が心を引き締める。お農朝に出勤する朝は、いつもこんな感じだった。喚鐘を合図にまだ暗い室内に入り外陣に座ると、この聲がまたひんやりと冷たい。底冷えする京都の夜を、思う存分吸い込んでいるかのようだが、ところが、正信偈を唱え和讃にかかる頃になると、体のぬくもりが伝わった。今度こそ、我が身を優しく支えてくれる。やがて、室内に日が差し込み明るくなっていく。その時間がなんとも言えず心地よい。今にして思えば、勤式作法を学ぶための一年であっただけでは、本願寺での朝夕の勤行や様々な法要に出勤することが、現場の緊張感と雰囲気味わうことの出来た貴重な時間ではなかったかと考える。現在、神戸に帰ってから二十年以上経ち、自分なりに心の余裕を持ちながら寺院活動をしているが、あの頃の、余裕はないけれど緊張感の中で懸命だったことが懐かし、今の自分にはそれが欠けているように、いささか虚しさを感じる。二年後には、親鸞聖人七百五十大遠忌を迎える。日頃、本願寺へは「参拝」させて頂いているが、この度は「出勤」させて頂くかと考えている。あの頃、に少し触れてみたくなった。

教区だより		12月・1月
15(火)	仏教文化センター練習会	10:30
16(水)	ビハラー餅つき大会(社保老健)	15:30
17(木)	少年連盟役員会	15:00
18(金)	門推幹事会並びに懇親会	14:00
21(月)	アブサラス練習会	13:30
22(火)	親鸞聖人讃仰作法研修会	13:30
24(木)	青僧会役員会	16:00
25(金)	寺院活性化委員会(懇親会有り)	13:30
26(土)	社会福祉協議会	13:30
28(月)	アブサラス練習会	10:30
31(木)	寺報編集委員会	終日
1(木)	元旦会	7:00
17(日)	1.17震災追悼法要、いのちを考える研修会	13:30
18(月)	ビハラー餅つきパーティー(社保老健)	13:30
30(土)	別院仏教報恩講	13:30

組善福寺武宏文◆神戸西組徳善寺安積義龍◆神戸西組正覚寺藤本英孝◆神戸西組高松寺谷川誠◆北摂組正光寺高崎長英◆神明組眞宗寺宮里悠児◆淡路組萬行寺山本龍雄◆播磨東組正念寺丸岡徳昭◆播磨東組西入寺木南芳隆◆加古川組福正寺小松俊英◆神崎組西源寺藤井良信◆神姫組正寺北森教哉◆姫路南組養泉寺龍古淳◆網干組政源寺赤松義光◆揖龍東組西法寺堀晃洋◆揖龍西組浄栄寺小宅鳳淳◆宍粟組安楽寺黒田眞隆◆佐用組円徳寺小畑英樹◆多紀組専福寺松嶋法城◆多紀組専福寺足立定夫◆氷上西組西往寺広瀬晃純◆氷上西組西光寺中尾教雄◆朝来組教蓮寺齊藤正俊◆養父組安楽寺山田正道(会係)◆神戸西組順正寺山下清之◆神明組安養寺光森龍樹◆揖龍東組源徳寺利田宏之(奏楽員)◆阪神南組珠光寺英一祥◆阪神南組弘誓寺園部宗純◆阪神西組善教寺赤井智顕◆阪神西組光明寺永野要真◆阪神西組光

明寺永野夏子◆神戸東組正寿寺棘麻衣子◆神戸東組大願寺昇高恭弘◆神戸中組教秀寺和仁章隆◆神戸湊組光寺前川隆哲◆神戸湊組善照寺建部典夫◆神戸湊組浄栄寺小宅匡◆神戸湊組報雲寺仲邑雅也◆神戸西組浄行寺中村信之◆神戸西組浄行寺中村秀之◆神戸西組眞寺大西正雄◆高砂組西蓮寺福田智成◆姫路南浄照寺三浦純◆姫路中組西徳寺井上英乗◆姫路西組万丈寺浅野界雄◆揖龍東

組西法寺堀晃洋◆赤穂北組慈眼寺松田善量(行政順・敬称略)以上の方々にお世話になりました。また、二十七日と二十八日は教区内仏婦と寺婦のコーラスにもご出演いただきました。有難うございました。なお、二十八日の初夜法要前に行われた帰敬式では十五名の方が授式され、法名を頂かれました。来年の別院報恩講は、兵庫教区お待ち受け法要(九月二十日〜十月八日)と併せてお勤めさせていただきます。

12月5日現在【敬称略】年末年始の別院・教務所の休みは、十二月二十八日(月)〜一月七日(木)まで。※但し、除夜会(十七時〜)・元旦会(七時〜)はお勤め致します。



今年の中啓の図案は別院の宝物である、大谷尊由さま直筆の画讃「馬画 讃扁面双幅」を基とした。雅楽等では、徐(序)はゆつくり、急は早く、破はその中間にあるとされており、また古式馬術において徐・破・急とゆつくりから早くといくように行う馬の肢運びがある様である。画を拝見すると、まさしく「徐」「破」「急」を表現した三頭の馬が描かれている。

敬 弔
左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します
大山龍英(岡山北組浄円寺住職) 平成21年11月3日67歳
藤井法雄(阪神北組正覚寺前任住職) 平成21年11月6日85歳
堀操(阪神南組西要寺前坊守) 平成21年11月11日97歳
九折舜壽(揖龍西組正専寺前任住職) 平成21年11月12日87歳
井上 尚(姫路西組善正寺住職) 平成21年11月29日81歳
井上慧子(姫路西組善正寺) 平成21年12月1日78歳
谷川靈正(神戸西組高松寺) 平成21年12月4日87歳
12月5日現在【敬称略】

現地視察

寺院活性化部会

前回の過疎過密地視察（多紀組・阪神北組視察）に続き十一月十三日、朝来組・養父組にて第二回寺院活性化部会過疎地現地視察を行なった。

最初に朝来組教徳寺を訪ね寺院や組における問題点や現状などをお聞きした。教徳寺は無住寺院であり朝来組照福寺の石田保孝住職が現在代務住職をされている。



雪降る篠山市での説明（第一回現地視察より）

門徒戸数は約三十戸であり、戸数は年々減少傾向にあるという。また、組内のほとんどの住職は兼務をされている。人口は減少傾向で過疎が進みお寺だけで生活するのは難しくなり、兼務せざるをえない状況である。

協議会に出席された門信徒の方々に「住職さんが居てほしいですか？」と訪ねると「このままでいいです。このお寺だけでは生活は厳しいだろうから」との意見があがった。寺院活動としては毎日のお仏飯のお給仕を門信徒の皆さんで当番制にし、仏花や荘厳も門信徒同士で協力しながら行っていることをお聞きしてお寺が門信徒の皆さんの心の拠り所となっていることを感じさせられた。



養父組安楽寺での協議会

恒例法要では経済的な問題から報恩講と永代経は、出勤法中順番で布教し、それ以外の法要は、住職が布教するという状況であることを考えると伝道教化活動こそ寺院活性化の最重要課題と考えるべきであり、教区や布教団などが支援していくことも必要ではないかとの意見がでた。

その後養父組西願寺へ向かい、集落の中の坂を少し上がった場所に寺院があった。西願寺のご住職は、この十年で五十

七十戸あった門徒戸数が、今では三十戸にも減少し、お寺の周りの住宅も空き家が増えてきたという。又、その内三割以上が高齢者や要介護世帯であるという現状。限界集落になるのも遠くはないのだろうと不安の声もお聞きした。



講演される神戸修師

この寺院の現状を鑑みて門信徒の方から、「今やらないとこれから先には出来なくなる」という切実な願いから災害対策として屋根等の修復を昨年行ったという。

その他過疎寺院の後継者育成の問題や教化団体の活動の難しさなどを聞いた。近隣の組での協力や教区、教化団体等の協力により活性化していくための施策を早急に実施すべきである事が再確認された。

た研修会を行っている。今回は、本年度第二回目として、十一月五日に大阪教区の神戸修師（天野北組西教寺）にご出講いただき、脳死・臓器移植問題についてご講演いただいた。

僧侶研修会
兵庫教区では、教区教學テーマを「現生正定聚」と定め、毎年三回の研修会を開催している。日程は、午前十時三十分より現生正定聚講師団に対する研修会を開催し、同日午後一時より教区内全寺院の僧侶を対象とした。

昨年度までは、教区教學テーマである親鸞聖人の示された「現生正定聚」の教えを教義的に講演いただいたものであったが、本年度は、「現生正定聚」を通して現代社会の問題を考えるものとし、第一回目は、七月十九日「自死問題」についてご講演いただいた。第二回は、来年の二月頃に「裁判員制度」の講演を予定している。

総代会

8ブロックで 研修会終了

総代会ブロック別研修会が、十一月十七日をもって終了した。門徒総代が、自ら聞法にはげみ相互の親睦提携を密にし、伝道に協力する態勢を整えるとともに、寺門の護持発展に寄与し、宗門の基幹運動を推進することを目的とした研修会である。

また、研修会の案内等が教務所から寺院に送られた段階で止まってしまう、総代まで情報が伝わらない、という事があるとの報告もあり、寺院・総代間の密な連絡関係を築くことの必要性も浮き彫りとなった。

さらに、総代となったが、具体的に何を行えばいいのか判らないので、勉強したいという問い合わせがあるため、総代になつて間もない方に来てこの様な研修会等に来てもらうことが肝心である、という意見が出た。

各ブロック研修会開催日・講師・研修指導員、会場は次のとおり。

◆東播／十月四日／安楽組安楽寺・黒田真隆師／網干組圓勝寺・福田高明師／多可町文化会館ベルディーホール ◆阪神・神戸／十月十八日／掛龍東組浄蓮寺・竹内俊之師／出石組西方寺・幡多哲也師／本願寺神戸別院 ◆姫路／十月二十三日／加古川組普光寺・近藤龍樹師／淡路組宣徳寺・藤榮亮匡師／法性寺（姫路中組） ◆丹波／十月二十五日／神戸湊組教覚寺・別所法宣師／福照寺（水上東組） ◆但馬／十月二十六日／安楽組安楽寺・黒田真隆師／神戸湊組教覚寺・別所法宣師／安楽寺（養父組） ◆西播／十月三十一日／淡路組宣徳寺・藤榮亮匡師／神戸湊組教覚寺・別所法宣師／政源寺（網干組） ◆岡山／十一月十七日／掛龍西組明正寺・堀正昭師／出石組西方寺・幡多哲也師／宝福寺（岡山北組）

西播ブロックは佐用組での開催を予定していたが、集中豪雨被害のため、急遽網干組でお世話を頂いた。

分科会では、総代の決

分科会のテーマは①大遠忌に向けて、宗祖のご恩とは②総代として、お念仏をどう味わい、伝えるか③総代として、次代の総代をどう育てるか④寺に集う活動とは、総代が率先開法するとは。分科会の後は、まとめの講話があり閉会となった。

分科会では、総代の決

青年僧侶の会 30周年記念シンポジウム

「つながるよろこび」
テーマ「現代社会における浄土真宗」

(日時) 2010年 2月4日(木)
開場 13:30
開演 14:00~17:30(終了予定)

(場所) 本願寺神戸別院 (モダン寺) 3階本堂
定員 300名

参加費 ・総代会シンポジウム (3,000円)
・記念シンポジウム+役員会 (予約制10,000円)

対象 ・青年僧侶の会 会員、OB
・青年僧侶の会の活動に賛同する個人、団体

内容 ・30周年記念法要 (内輪会OB)
・贈答 (贈答の席)
・パネルディスカッション
・記念祝賀会 (神戸・北野クラブラソラ) 定員100名

「パネルディスカッション」
テーマ「現代社会における浄土真宗」

パネリスト 長 宗明氏 (僧)
副委員長 (NHK教育テレビ「こころの時代」ディレクター)
委員長 (NHK教育テレビ「こころの時代」ディレクター)
コーディネーター 総務部長 (NHK教育テレビ「こころの時代」ディレクター)

三十周年案内チラシ (表面)

青僧会三十周年記念 シンポジウム開催

来年二〇一〇年二月四日(木)午後二時より、本願寺神戸別院にて、「青年僧侶の会三十周年記念法要及びシンポジウム」つながるよろこび」が開催されます。

これまで教区内各寺院の先輩諸氏、また青年僧侶の会のさまざまな活動のご賛同いただき、ご協力いただいた皆様のおかげを以って、三十周年を迎えることができました。

その多くの方々から私達、そして次代へとみ教えが伝えられるつながり、そしてよろこびを共有いたしたく、歴代会長並びに役員経験者にご出勤いただく記念法要、そして栖雲深泥氏、高史明氏、金光寿郎氏をお招きしてのシンポジウムを開催いたします。

また、記念法要・シンポジウム終了後、午後六時三十分より、神戸北野クラブsolia (神戸市中央区北野町) にて記念祝賀会を予定しておりますので、ご参加くださいますようお願いいたします。